

市報

やまぐち

昭和57年

2月15日

No.830

交通事故状況

種別	区分	累計		
		1月	本年	昨年
発生件数		35	35	45
死亡者		1	1	2
重傷者		6	6	7
軽傷者		49	49	46

発行 山口市役所
編集 企画部広報課
印刷 (株) 丸二商行



病氣や弱虫吹き飛ばせ
元気な声で鬼退治
吉敷幼稚園豆まき

二月三日の「節分」の日、市内各地の神社では色々な節分行事が行われました。
吉敷幼稚園でも、園児たち約百四十人が、自分で作った赤鬼や青鬼などの面を持ち寄り、午前九時三十分から、運動場で豆まきをしました。
最初は年少組が鬼になり、次は年長組に替って、二回に分けて行いました。先生たちも園児たちと一緒に、運動場狭しと、豆まきを楽しみました。
三日は、暦の上では立春の前日ですが、山や日陰には残雪があるなど、春はまだ先のようです。園児たちも、インフルエンザ鬼や弱虫鬼を退治しようと、「鬼は外、福は内」と元気な声を張り上げていました。

人口の伸びは県下で最高 老年人口 大幅に増える

昭和55年
国勢調査

昭和五十五年十月、全国一斉に実施された国勢調査の結果がまとまりました。これによると、人口の伸び率は県の約四倍になっており、老年人口も五十年に比べると、大幅に上昇していることが明らかになりました。



・第1次産業…農業、林業、狩猟業、水産、建設業、製造業
・第2次産業…卸売、小売業、金融・保険業、不動産業、運輸・通信業、電気・ガス、水道・熱供給業、サービス業、公務

農業就業者が減少しています。後継者の育成・指導が今後とも必要です

年少人口、生産年齢人口比
5年前に比べ低下

市の人口は、昭和五十年に比べ八千六百四十五人、率にして八・一%の増加を示し、県の増加率二%に比べると約四倍の多い伸びになりました。これは県内の増加人口三万一千八百六十一人の二七%で、県下では第一位の伸びになります。

人口構成では、年少人口（〇歳から十四歳）が二・一%、生産年齢人口（十五歳から六十四歳）が六八%、老年人口（六十五歳以上）が一〇・九%で、これを五十年と比べると、年少人口が〇・二%、生産年齢人口が〇・九%低下した反面、老年人口は一・一%上昇するなど、

老齡化へ確実に移行している実態がみられます。このほか、十五歳以上の人口九万四千八百八十四人のうち、就業者は五万六千二百五十二人、完全失業者（仕事に就くことが可能で、仕事を探している人）は九百七十三人、合計すると労働人口は五万七千二百二十五人となり、これが十五歳以上の人口に占める割合（労働力率）は六三・二%で、五十年の六三・九%に比べると〇・七%低下しています。

第2次産業の就業者 県の平均より劣る

十五歳以上の就業者五万六千二百五十二人を産業別にみると最も多いのが「サービス業」の一萬三千八百六十一人（就業者総数の二四・六%）、次いで「卸売業、小売業」一萬二千四百七十四人（二二・二%）、「農業」七千五百四十四人（一三・四%）、「公務」五千八百五十四人（一〇・四%）の順になっています。県の割合の「サービス業」（一八・四%）、「公務」（四・一%）に比べると、本市の割合が大きいことから、本市は観光の町、公務員の町といえそうです。

また、産業を第一次、第二次、第三次の三部門に分けてみると第一次産業は七千七百七十八人（総数に占める割合は一三・八%）第二次産業は一萬百十二人（一八%）第三次産業は三万八千三百四十四人（六八・二%）となっています。

これを県平均の第一次産業一三・八%、第二次産業三一・一%、第三次産業五五・一%と比べると

第一次産業は七千七百七十八人（総数に占める割合は一三・八%）第二次産業は一萬百十二人（一八%）第三次産業は三万八千三百四十四人（六八・二%）となっています。

人事異動

1月28日付

山口・小郡地域広域水道企業団事務局を含む

△一等級▽

▽農業委員会事務局局長牧野文男（平川公民館長（併）平川出張所長）▽農業委員会事務局付中村修（農業委員会事務局局長）

△二等級▽

▽課税課長山田輝男（保険年金課長）▽納税課長西村幸夫（保護課長）▽総務部付河村敬一（納税課長）▽公害交通課長奥田収（学校教育課主幹（兼）学事係長）▽市民生活部付永末宣人（公害交通課長）▽同部付田中孝（清掃事務所主幹（兼）施設係長）▽（兼）商工観光課消費生活係長中村巖（商工観光課長）▽（兼）都市計画課土地対策係長三輪亮（都市計画課長）▽保護課長鈴木幹治（出納室次長（兼）物品係長）▽保険年金課長田中隆（幹線道路対策事務局次長）▽小鯖公民館長（併）小鯖出張所長岩本勝人（農林水産課主査（兼）畜場係長）▽吉敷公民館長（併）吉敷出張所長藤井六郎（広報課市民相談室長）▽平川公民館長（併）平川出張所長又野忠彦（監査事務局次長）▽教育委員会事務局付松永忠淳（吉敷公民館長（併）吉敷出張所長）

△三・四等級▽

▽広報課市民相談室長岩本多喜男（管理課主査）▽清掃事務所施設係長木村岩雄（清掃事務所主幹）▽（兼）畜場係長岡田末男（畜産係長）▽保険年金課給付係長重宗敬三（商工観光課消費生活係長）▽同管理係長水野武彦（中部環境施設組合主査）▽厚生部付三巻文吉（保険年金課給付係長）▽出納室主査熊野勝利（出納室主査（兼）倉庫係長）▽学校教育課主幹（併）福祉課主任小野村治（保険年金課主任）

と、第一次産業の割合は同じで、第二次産業が少なく、第三次産業が多くなっています。

産業別の増減をみると、増加したのは「建設業」の千三百九

〇・四%となっています。

人（三・四・八%）「サービス業」の二千七十一人（一七・六%）などで、最も減少したのは「農業」の千九百二十人（二〇・四%）となっています。

市議会（臨時会）の結果

二月一日開会された昭和五十七年第一回市議会臨時会は、提案された昭和五十六年度一般会計補正予算と、固定資産評価員の選任について議会の同意を求める議案の二議案を、原案通り可決・承認して終わりました。

一般会計予算に 4千6百余万元追加

昭和五十六年度一般会計予算に、四千六百十二万円を追加し、予算総額は二百十三億六千九十七

万六千円になりました。

固定資産評価員に 畠山輝男氏

前固定資産評価員山下享祐氏の死去に伴う後任に、畠山輝男氏を選任することに、議会の同意を得ました。

目的 5月1日から1か月間を「児童福祉月間」としてその関心と理解を深めるもの
応募方法 3月5日までに、官製はがき1枚に1標語を記載し、住所、氏名、年齢、職業、郵便番号を明記の上、県児童家庭課（滝町1-1）へ

児童福祉月間運動の標語募集

利用者は多数、だが.....

「不衛生」「危険」「青少年非行に」 取し口が不潔

ジュース
たばこ
酒

自動販売機
「売」
ト機

市内の生活学校五校が実施した、自動販売機に関するアンケートで、ジュースやたばこなどを購入するため、八八%の人が利用しているにもかかわらず、半数以上の人が衛生上や青少年の健全育成上、好ましくないと考えていることがわかりました。

被害を受けたが
泣き寝入り 58%

調査は生活学校のグループ員が、友人などに調査票を配布して実施したもので、二百四十四人から回答が寄せられました。

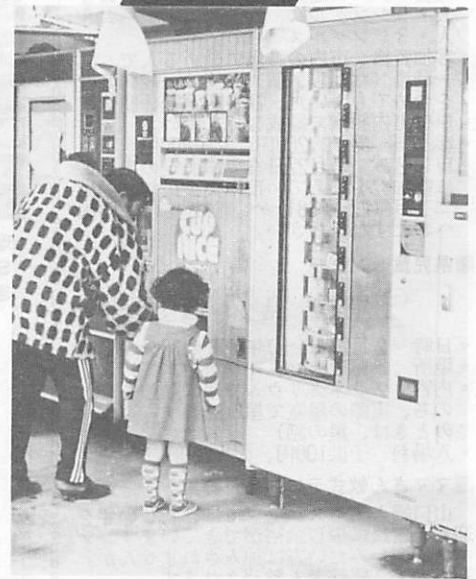
その結果、自動販売機を利用したことがある人、あるいは時々利用していると答えた人は、二百十四人(約八八%)にもおぼりました。

購入した商品は、ジュース等清涼飲料水がトップで、次いでコーヒー・ココア、たばこ、乳飲料類、酒類の順になっていました。

利用した際に、商品やつり銭が出なくて、被害を受けたことがあるかどうかの質問では、二九%の人が「ある」と回答し、そのうち五八%の人が、苦情を

どこにも申し出ず泣き寝入りしてしまいます。

その理由としては、「被害額が少なかった」(三八%)、「連絡先が分からなかった」(三五%)、「めんどうだから」(二三%)



便利さのかけに、問題もある自動販売機。管理・責任体制を明確にしましょう

昨年、一年間の火災発生件数は四十四件で、前年の六十二件に比べ十八件減少しました。これは、四年連続して減少したことになります。

特に、これから春先にかけて火災が起りやすい季節を迎えますが、この減少傾向を継続させるためにも、なお一層火の用心が必要です。

この火災シーズンを前にして全国的に春の火災予防運動が始まります。消防本部ではこの運動を通じて、山火事防止と家庭の防火について次の

%)となっています。

また、苦情を申し出た人(四〇%)の申し出先は「自動販売機が設置してある店」(六四%)「自動販売機に表示されている苦情の連絡先」(三二%)「消費生活センター等行政機関」(四%)の順になっています。

自動販売機の普及は好ましくない、84%

自動販売機の設置場所や方法に、問題があると答えた人は五五%もあり、そのうち六八%の人が直接日光が当たったり、雨ざらしになったり、自動販売機の回りがよごれているなど不衛生だと指摘しています。

また、「道路や歩道にはみ出して邪魔になる」(二二%)「設置方法に問題があり倒れる危険がある」(八%)など、通行の障害と危険性をあげた人もいます。

自動販売機が、青少年の非行につながるという答えた人は五七%。自動販売機が、青少年の非行につながるという答えた人は五七%。自動販売機が、青少年の非行につながるという答えた人は五七%。

ことを呼びかけています。

山林内でのたき火は、後始末を完全にします。

たばこの吸殻やマッチの火は必ず消す。

山火事と家庭の防火を

春の全国火災予防運動

風の強い日や空気が乾燥している日は、草焼きをしない。

山焼きの火入れなど多量の煙を出す場合は、許可または届け

あり、その理由として①たばこや酒類、俗悪雑誌などが自由に手に入る②金銭感覚がルーズになり、無駄遣いが多くなる③心の通わない販売行為は害になる④無人の場所の設置が多く、たまり場になる⑤立ち食い、立ち飲み、投げ捨て等、しつけ上好ましくない、などがあげられています。

そして、自動販売機が普及することについて、「販売する物によつては反対」(七二%)「反対」(一二%)を合わせると、実に八四%の人が普及することを望んでいないようです。

アンケートの最後に、自動販売機についての意見や要望を求めています。①便利だが台数、商品の数を規制してどうか②無人で不潔になりやすく、危険である。管理を十分にしたい③食品販売機は、直射日光を避け、取出口は衛生的にしたい④空き罐の投げ捨てを防ぐために、入れ物を備えて欲しい

出をする。

幼児、老人、身体不自由者の就寝は、避難しやすい所にし、また、万一の時の避難を考え、二カ所以上の方角を決めておく。

マッチ、ライターは子供の手の届かない所へ置き、子供には火遊びの恐ろしさを教える。

主婦を中心に防火の家族会議



〈空きかんは所定の場所へ〉

い、など七十人(全体の二九%)がなんらかの要望をもっていることがわかりました。

多数の人が利用し、便利だと答えながら、安全性、衛生面、青少年に及ぼす影響には問題があると、多くの人が指摘しています。

これからも、管理・責任体制を明確にし、野放しにならないようお互いに注意が必要です。

を開き、とつきの場合に備える。

悪質な
消火器販売にご注意を

最近、訪問販売で強引に家庭に入り込み、高価な消火器を買わされたという話を聞きます。

消防署員が消火器を販売することはありませんので不審に思われるときは、消防署(☎二二一四七〇)にお知らせください。

市民健康診断 (市医師会主催)

- 日時 2月23日(火) 午後1時～3時
- 場所 市医師会健康管理センター(湯田温泉五丁目22-6972)
- 内容・料金 一般検診(聴打診、血圧測定、検尿、胸部間接撮影)・1,600円、循環器検診A(一般検診、心電図)・2,300円、循環器検診B(循環器検診A、血清たん白、コレステロール)・2,800円

市職場卓球大会

- 日時 2月28日(日) 午前9時開会
- 場所 県体育館
- 主催 市中央公民館、市卓球協会
- 種目 チーム編成 男子団体1チーム5人・5シングルス、女子団体1チーム3人・3シングルス
- 参加資格 市内の職場に勤める人で、同一職場(ただし、個人商店は一般同好者を含めてもよい)。社会教育関係団体、単位町内組織で編成してもよい。
- 参加料 男子1,200円、女子800円
- 申し込み 2月22日までに所定の申込書に参加料を添えて、市中央公民館(中央二丁目22-0381)へ。詳しくは、同館へおたずねください。

県児童センター

「星を見る会」

- 日時 2月27日(土) 午後6時30分～8時
- 場所 県児童センター(吉敷木崎)
- 内容 プラネタリウムで星の勉強をしたのち、実際の星空で星座を探す。(雨天のときは、星の話)
- 入場料 子供100円、大人200円

ママさん軟式テニス会員募集

- 山口婦人テニスクラブでは、新しい年を迎え、定員に少し余裕ができています。テニスを楽しまたい方は加入されませんか。初心者も、経験者も歓迎されます。
- 練習日・会場 毎週火曜日・維新公園コート、毎週木曜日・県体育館
- 時間 午前9時30分～12時
- 会費 年間5,000円(他に入会金2,000円)
- 募集人員 若干人(初心者には公認指導員の指導があります)
- 申し込み 同クラブの世話人・大塚 仁さん(大内御堀24-1960)へ

昭和56年分確定申告無料個別相談

- 山口商工会議所と山口中小企業相談所では、市内の小規模事業者を対象に、確定申告無料個別相談所を開設します。
- 日時 2月22日、23日、24日の3日間。時間はいずれも午前10時～午後4時
- 場所 山口商工会議所(県商工会館内)
- 相談員 中国税理士会山口支部税理士希望者は申告資料をご持参ください。

固定資産課税台帳は、毎年3月一日から二十日までの間、市役所課税課で関係者に縦覧していますが、地方税法の改正等の関係上、昭和五十七年度に限り延期します。

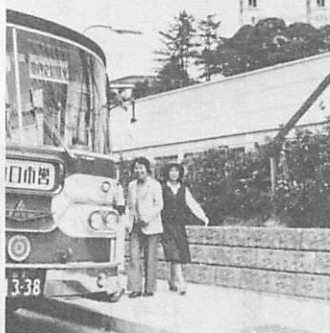
なお、縦覧期間が決まりましたら、後日、市報でお知らせします。

縦覧期間を変更します

固定資産課税台帳

- 固定資産課税台帳は、毎年3月一日から二十日までの間、市役所課税課で関係者に縦覧していますが、地方税法の改正等の関係上、昭和五十七年度に限り延期します。
- なお、縦覧期間が決まりましたら、後日、市報でお知らせします。

お知らせ



瑠璃光寺五重塔や雪舟庭のほかSLやインテルサットも見物できる市内定期観光バス

市内定期観光バス

3月1日から運行開始

市営バスでは、市内定期観光バスの運行を三月一日から次により再開します。

運行期間は、三月一日から十一月三十日まで毎日午前、午後二便、十二月一日から二十五日までの日曜日と正月三か日は午前に一便運行します。

運行時間 八午前 湯田温泉バス停発午前八時四十分、山口駅前発午前八時五十分

八午後 湯田温泉バス停発

午後一時四十分、山口駅前発午後一時五十分

運行コース 湯田温泉バス停

山口駅前―パークロード―香山園・五重塔―山口衛通

信所―仁保(SL展望)―常栄寺・雪舟庭―パークロード

―県庁前(藩庁門)―サビエル記念聖堂―山口駅前―湯田温泉バス停

約三時間三十分

運賃 大人千三百五十円、学生千三百円、子供五百三十円

不燃物の収集日

出張所地区

- 3月 1日嘉川、2日鑄銭司・陶、3日佐山・秋穂二島・名田島、9日大内、15日平川、17日小鍋、18日吉敷、23日仁保、25日宮野、29日大蔵

山口大学学生の 下宿・貸間ありませんか

山口大学では、本年も多数の新入生を迎えるために、その下宿・貸間を捜しています。

部屋をお貸しくださる方は、3月10日までに、山口大学学生部厚生課(大字吉田1667-1 22-6111)へ「電話」か「はがき」でお知らせください。

初級簿記講習会

- 期間 3月1日から19日までの毎週月、水、金曜日の9日間(計27時間)
- 時間 午後6時～9時
- 場所 山口技能開発センター
- 内容 初歩から一般経理事務
- 定員 20人(定員になり次第締切り)
- 受講料 2,000円(テキスト代を含む)
- 申し込み 2月22日までに、山口技能開発センター(矢原字花の木 22-1948)へ

販売士資格更新講習会

- 山口商工会議所では、次により、販売士資格更新講習会を開催します。希望者は、2月18日までに同会議所(中央四丁目25-2300)へお申し込みください。
- 日時 3月4日(木) 午後1時～4時30分
- 場所 山口商工会議所(会議室)
- 受講料 2,000円(テキスト代を含む)
- 販売士資格の認定期間は5年です。昭和51年度第4回小売商検定試験(3級)に合格された人は、今年3月までに資格更新手続が必要です。

市児童文化センター 絵画講座

市児童文化センターでは、児童の創造力や表現力を伸ばし、豊かな情操を培い、健全育成の

二月二十八日は、市内では「平川の荒神様」と呼ばれている平川高倉荒神祭の日です。

荒神様は、農業の神様といわれ、昔から近郊の農家のお参りで大変にぎわっていますが、昨今では、庭木や盆栽ブームなども反映し、農家以外の人の参りも増えています。

平川荒神祭(2月28日)に 市営バス臨時便を運行

学校前「間」に臨時便を設けます。

運行時間は、湯田温泉バス停発午前八時四十五分、平川小学校前終発午後三時三十分で、この間、十五分から二十分ごとに運行します。

なお、雨天の場合は、中止となります。

確定申告はお早目に

2月16日～3月15日

税務相談



確定申告の季節となりました。確定申告は二月十六日から三月十五日までですが、三月十日ごろから混雑が予想されますので、お早目に税務署へお出かけください。郵送でも構いません。

さて、サラリーマンでも確定申告をしなければならぬ場合や、確定申告をすれば税金が還付される場合があります。

確定申告をしなければならぬ場合

- 給料、賞与の総額が一千万円を超えるとき
- 二カ所から給料をもらっているとき
- 給料以外の所得が二十万円を超えるとき

確定申告をすれば税金が還付される場合

- マイホームを取得したとき
- 火災や風水害、盗難などの被害を受けたとき
- 病氣や出産などで多額の医療費を払ったとき
- 年の途中で退職し、再就職をしていないとき

アメリカ製・産業用測定、分析機器展

- 期間 2月25日～27日
- 会場 毎日会館9階ホール(北九州市小倉北区紺屋町)
- 内容 約20社の日本の代理店がアメリカメーカーを代表して機器やカタログを展示
- 主催 在福岡アメリカ領事館、北九州商工会議所